

令和6年度・令和7年度の主な取組(島田市)

令和6年度実施

○ハード対策の主な取組

- ・緊急浚渫推進事業債を活用し、河川内の堆積土砂撤去や樹木伐採を実施



○地域住民の防災意識向上のための取組

- ・島田市防災ガイドブックの改定
島田市防災ガイドブックを改定し、防災に関する知識や心構えを習得し、住民の避難行動や防災活動に一層活用できるものとする。
- ・学校水防災教育の継続実施
市内小・中学生を対象とした水防災教室を実施し、児童・生徒の知識を深め防災意識の向上を図った。



○迅速かつ的確な避難行動のための取組

- ・災害情報共有システムの導入
災害情報共有システムを導入し、全庁で被害や対応状況等の情報の共有を図る。

○迅速な水防活動・排水活動の取組

- ・水防訓練の継続実施
各種土のう工法の訓練を実施し、消防団等の技術と意識の向上を図った。自主防災組織の参加により、地域住民の防災に関する技術と意識の向上を図った。
- ・土のうステーションの継続運用



大雨や台風等による浸水被害に対する住民の自衛活動への支援を目的として設置した土のうステーション(市内5箇所)を運用している。

令和7年度予定

○ハード対策の主な取組

- ・緊急浚渫推進事業債を活用し、河川内の堆積土砂撤去や樹木伐採を実施

○地域住民の防災意識向上のための取組

- ・学校水防災教育の継続実施
市内小・中学生を対象とした水防災教室を実施し、児童・生徒の知識を深め防災意識の向上を図る。
- ・防災講演会の実施
市内の住民等を対象とした防災講演会を実施する。講演会では、平成23年3月に発生した東日本大震災において、災害対応の陣頭指揮をとられた立谷相馬市長を招き、現地の経験や教訓、災害対策の知恵を学び、防災意識の向上を図る。

○迅速かつ的確な避難行動のための取組

- ・わたしの避難計画の作成
「島田市洪水・土砂災害ハザードマップ」を活用した「わたしの避難計画」を令和5年度から令和7年度の三か年で各家庭で作成していく。

○迅速な水防活動・排水活動の取組

- ・水防訓練の継続実施
- ・土のうステーションの継続運用



令和6年度・令和7年度の主な取組(焼津市)

令和6年度実施

○ハード対策の主な取組

- (準)小石川遊水地の整備
- 雨水貯留浸透施設設置補助事業の運用開始



(準)小石川遊水地

○地域住民の防災意識向上のための取組

- 小・中学校、地域団体等を対象とした、水災害に関する防災教育と、ハザードマップの周知

○迅速かつ的確な避難行動のための取組

- 焼津市水防監視システムの拡張(水位計1基の設置)
- リアルタイム防災情報と、災害パトロール情報が掲載される『スマートマップ焼津』の運用開始



防災講座



スマートマップ焼津

○迅速な水防活動・排水活動の取組

- 総合水防訓練の実施
- 台風第10号における排水ポンプ車の実動



令和7年度予定

○ハード対策の主な取組

- 流域貯留施設の整備(石脇公園・中根公園)
- 石脇貯留池改良設計業務委託
- 木屋川流域治水対策検討業務委託
- 石脇上地内治水対策検討業務委託

○地域住民の防災意識向上のための取組

- 小・中学校、高校、地域団体等を対象とした、水災害に関する防災教育と、ハザードマップの周知



防災講座

○迅速かつ的確な避難行動のための取組

- 焼津市水防監視システムの拡張(河川監視カメラ1基の設置)
- 冠水センサー19基の設置
- 災害情報共有システム(防災ポータル)の改良(冠水センサー)



河川監視カメラ



冠水センサー

○迅速な水防活動・排水活動の取組

- 総合水防訓練の実施
- 水災害対応訓練の実施
- 排水ポンプ車の操作訓練の実施



水災害対応訓練

令和6年度・令和7年度の主な取組(藤枝市)

令和6年度実施

○ハード対策の主な取組

●藤枝市水位・雨量観測システムのさらなる拡充

・市内中小河川に水位計を1か所、河川監視用ライブカメラを4か所新たに設置し、24時間いつでもリアルタイムに河川の状況が確認できる体制を整備し、水防配備体制の移行の判断や住民の避難行動啓発に活用した。



河川監視用カメラ

○地域住民の防災意識向上のための取組

●マイ・タイムラインのさらなる普及

・水害から逃げ遅れないために取り組んでいる「土砂災害版・洪水災害版マイ・タイムライン」について、紙ベースの作成方法に加えてデジタル化による作成方法を新たに取り入れ、市内居住者、市内就業者の誰もが水害から逃げ遅れないためのシステムを構築し、「マイ・タイムライン」の更なる普及啓発に取り組んだ。

水害に備えるには？
どこに避難すればいい？
避難のタイミング？

藤枝市公式 LINE アカウントを友だち登録して
「マイ・タイムライン」を作成しよう！

デジタル版マイ・タイムラインでできること

point 1
自宅・職場・学校などの水害の危険度が簡単に分かる

point 2
避難方法が分かり安全な避難につながる

point 3
作成したマイ・タイムラインを家族と簡単に共有ができる

作成はここから

動画でチェック

藤枝市
お問い合わせ先：河川課 水害対策室
〒426-8722 静岡県藤枝市岡部山 1-11-1 藤枝市役所東館 2階
TEL: 054-643-3336

令和7年度予定

○ハード対策の主な取組

●雨水貯留浸透施設設置補助事業の運用開始

○迅速な水防活動・排水活動の取組

●水防配備体制のさらなる強化

・早急に現場対応が可能なパトロール体制の強化を図る

○地域住民の防災意識向上のための取組

●洪水ハザードマップの更新

●出前講座による幅広い世代の避難意識の向上を図る

雨水貯留タンクや浸透ますの設置費を補助します。

設置により、豪雨による浸水被害の軽減や地下水保全にも貢献できます。



補助制度の内容

施設名	補助金額 (上限額)	住宅等の建築面積 (対象)
雨水浸透ます A 型	1 基につき 10 万円まで全額補助	藤枝市内の住宅等 1 棟につき 建築面積 5.0 平方メートル未満・・ 1 基まで対象
雨水浸透ます B 型	1 基につき 5 万円まで全額補助	建築面積 5.0 平方メートル以上・・ 2 基まで対象
雨水貯留タンク	1 棟につき 3 万円まで全額補助	藤枝市内の住宅等 1 棟につき 貯留容量の合計が 200 リットル以上のタンク設備 (例: 50 リットル × 4 基でも OK)



出前講座の様子

令和6年度・令和7年度の主な取組(牧之原市)

令和6年度実施

○ハード対策の主な取組

- ・緊急浚渫事業により、河川内の堆積土砂撤去や樹木伐採を実施。
- ・準用河川沢垂川の樋門設置(躯体工)を実施。

○地域住民の防災意識向上のための取組

- ・防災指導員養成講習会において、風水害対策の講座を実施。
- ・地域団体や市内小中学校へ風水害対策の講座を実施。

○迅速かつ的確な避難行動のための取組

- ・わたしの避難計画普及員の養成(講座にて、わたしの避難計画の作成)
- ・要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び訓練実施の促進
- ・実効性のある個別避難計画作成(モデル地区)

○迅速な水防活動・排水活動の取組

- ・排水ポンプ車の運用。平常時から点検及び訓練を実施。



令和7年度予定

○ハード対策の主な取組

- ・緊急浚渫事業により、河川内の堆積土砂撤去や樹木伐採を実施。
- ・準用河川沢垂川の樋門設置完了。
- ・緊急排水対策事業として、浸水被害の多発箇所へ排水ポンプを4地区に設置する。

○地域住民の防災意識向上のための取組

- ・防災指導員養成講習会において、風水害対策の講座を実施。
- ・地域団体や市内小中学校へ風水害対策の講座を実施。

○迅速かつ的確な避難行動のための取組

- ・わたしの避難計画普及員の養成(講座にて、わたしの避難計画の作成)
- ・要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び訓練実施の促進
- ・実効性のある個別避難計画作成(市全域への展開)

○迅速な水防活動・排水活動の取組

- ・排水ポンプ車の運用。平常時から点検及び訓練を実施。



令和6年度・令和7年度の主な取組(吉田町)

令和6年度実施

○ハード対策の主な取組

- ・大窪川の護岸改修を実施
- ・第3号ポンプ場整備事業の実施
- ・二級河川湯日川流域治水対策計画に基づき個別の整備検討を実施
- ・河川浚渫工事の実施



○地域住民の防災意識向上のための取組

- ・防災講座を複数回行い、町民及び地域の防災力の向上を図った。



○迅速かつ的確な避難行動のための取組

静岡県と共同で作成した「わたしの避難計画」を出前講座等で活用することにより減災に繋がった。

○迅速な水防活動・排水活動の取組

- ・津波避難タワー余剰地に、町内自主防災会により、土のうステーションを設置し、水害時に使用する土のうを管理した。

令和7年度予定

○ハード対策の主な取組

- ・大窪川の護岸改修を実施
- ・第3号ポンプ場整備事業の実施
- ・坂口谷川水災害対策プラン及び吉田町湯日川流域治水対策計画に基づき、短期対策に位置付けられた可搬式排水ポンプの購入



○地域住民の防災意識向上のための取組

- ・避難所運営マニュアルの作成にあたり、避難所運営に関する講演会を実施し、町民への意識啓発を図る。
- ・防災講座を複数回行い、町民及び地域の防災力の向上を図る。

○迅速かつ的確な避難行動のための取組

- ・静岡県と共同で作成した「わたしの避難計画」を防災訓練や出前講座等で活用することにより減災に繋げる。



○迅速な水防活動・排水活動の取組

- ・引き続き、津波避難タワー余剰地に、町内自主防災会により、土のうステーションを設置し、水害時に使用する土のうを管理する。

令和6年度・令和7年度の主な取組(川根本町)

令和6年度実施

○ハード対策の主な取組

河川内に堆積した土砂を撤去するための予算を計上し、予防的な水害対策を実施した。



○地域住民の防災意識の向上のための取組

- ・町広報誌に防災コラムを毎月掲載。
- ・わたしの避難計画(北部地域)の作成及び周知。

○迅速かつ的確な避難行動のための取組

災害対策本部・支部運営訓練を行い、指示系統や連絡体制の確認を行った。



○迅速な水防活動・排水活動の取組

- ・大雨時の河川巡視等の水防活動は消防団が担っている。ポンプ点検を行う際に資機材及び操作の確認を行い、機材を扱う職員の育成を行った。
- ・水防演習(土のう作り)実施した。



令和7年度予定

○ハード対策の主な取組

- ・河川内に堆積した土砂等を撤去するための予算を計上し、予防的な水害対策を実施する。
- ・準用河川杉沢川の河川改修を実施する。

○地域住民の防災意識の向上のための取組

町広報誌に防災コラムを毎月掲載。

○迅速かつ的確な避難行動のための取組

災害対策本部・支部運営訓練を行い、指示系統や連絡体制の確認を行なう。

○迅速な水防活動・排水活動の取組

- ・大雨時の河川巡視等の水防活動は消防団が担っている。ポンプ点検を行う際に資機材及び操作の確認を行い、機材を扱う職員の育成を行なう。
- ・水防演習(土のう作り)実施する。



令和6年度・令和7年度の主な取組(静岡県危機管理部)

令和6年度実施

○迅速かつ的確な避難行動のための取組

(1)「わたしの避難計画」の普及

- ・住民や学校向けに「わたしの避難計画」作成講座の開催、駅前での啓発活動等を実施。
- ・「わたしの避難計画」の作成をサポートする「わたひな普及員」を養成する講座を地域の防災役員や民間企業向けに実施。



静岡県立大学での作成講座(令和6年11月12日)



地震防災強化月間での啓発(令和6年11月29日)



わたひな普及員養成講座(令和6年12月9日)

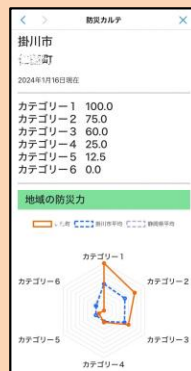
(2)防災アプリ「静岡県防災」の利便性向上

- ・自主防災組織と情報共有を図るための「見える化機能」の運用。
- ・自主防災組織の点検及び現状把握を目的とした「防災カルテ」の普及。
- ・災害の情報や避難所の情報を自主防災組織からいち早く得ることを目的とした「災害状況投稿」の普及。

防災アプリ「静岡県防災」



防災カルテ



災害状況投稿



令和7年度予定

○迅速かつ的確な避難行動のための取組

(1)「わたしの避難計画」の普及

- ・市町と連携し引き続き普及を図っていく。
- ・普及が円滑に進むよう地域での普及人材の育成を図るとともに、防災訓練での活用を呼びかけていく。

(2)防災アプリ「静岡県防災」の利便性向上

システムの改良により、視覚障害のある方が避難行動を迅速に進めることが出来るよう、音声ハザードマップ機能を追加するなどの利便性の向上を図り、さらなる活用を目指していく。

○迅速な水防活動・排水活動の取組

(1)風水害合同対処訓練の実施

- ・中部地域局や市町と連携した風水害合同対処訓練を実施し、関係機関との連絡調整、迅速かつ的確な情報伝達等について確認を実施していく。必要に応じて、避難情報の発令の体制見直し等を支援していく。



令和6年度の訓練の様子

令和6年度・令和7年度の主な取組(中部地域局)

令和6年度実施

○逃げ遅れゼロのための取組

・市町風水害版図上訓練(演習)の実施

”住民の避難行動”の改善及び市町の防災担当職員のスキルアップを目的に、気象庁が作成した「市町防災担当者向け気象防災ワークショップ」【風水害編】を実施。

【参加機関】

管内7市町 防災担当職員(12名)
静岡地方気象台(6名)
静岡河川事務所(2名)
県関係各課及び出先機関(5名)



気象防災ワークショップ
R6.9.11

○住民の防災意識向上のための取組

・企業等への出前講座の実施

管内の企業や自主防災会に対し、近年における風水害の現状と課題や平時から備えるべき事項に関する出前講座を実施。

防災講話の様子

((株)小糸製作所) R6.4.22/9.12



・水防災に関する防災教育の推進

風水害に関する防災講話を実施。

・メールマガジンによる情報提供

管内の企業等に気象関係や水防災情報を記載したメールマガジンを発信。

令和7年度予定

○逃げ遅れゼロのための取組

・市町風水害版図上訓練(演習)の実施

昨年度に引き続き、”住民の避難行動”の改善及び市町の防災担当職員のスキルアップを目的に、気象庁が作成した「市町防災担当者向け気象防災ワークショップ」【中小河川洪水災害編】を実施する。R7.9.19予定

【参加予定機関】

管内7市町 防災担当職員
静岡地方気象台
静岡河川事務所
県関係各課及び出先機関

○住民の防災意識向上のための取組

・企業等への出前講座の実施

昨年に引き続き、管内の企業や自主防災会に対し、近年における風水害の現状と課題や平時から備えるべき事項に関する出前講座を実施する。

・水防災に関する防災教育の推進

昨年に引き続き、風水害に関する防災講話を実施する。

・メールマガジンによる情報提供

昨年に引き続き、管内の企業等に気象関係や水防災情報を記載したメールマガジンを発信する。



防災講話の様子(小学校)

令和6年度・令和7年度の主な取組(静岡県河川砂防局)



令和6年度実施

○水害リスク情報等の共有に向けた取組

○洪水浸水想定区域の指定

- 水防法に基づき、**静岡・島田**土木事務所管内の**146河川**（**静岡:84河川**、**島田:62河川**）の洪水浸水想定区域を令和7年3月31日に指定した。

○高潮浸水想定区域図の公表

- 想定し得る最大規模の高潮による家屋倒壊等氾濫想定区域図を県内全沿岸で令和7年3月31日に公表した。（なお、**静岡・志太榛原**地域の高潮浸水想定区域図は令和3年9月30日に公表済み）

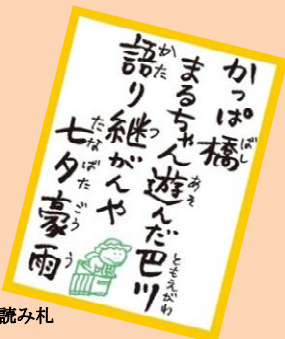
○避難行動を促す取組

○出前講座などを活用した住民向けの防災情報の説明会・訓練の充実

- 県庁見学会や市町職員向け説明会等を活用し、水害リスクや防災情報について説明を行い、周知啓発を図った。
- 流域治水の考え方にに基づき、水災害を自分事として捉え、地域防災力を向上するきっかけとなることを目的にソフト対策の一環として「しぞ〜か防災かた『豪雨の備え編』」を作成した。



かた完成札・読み札



防災かた作成ワークショップの様子
中部地域(静岡)

○流域治水シンポジウムの開催

- 昭和49年7月の七夕豪雨災害から50年の節目となる機会に、流域治水シンポジウムを開催。「流域治水」の推進と「水災害の自分事化」を図った。
(令和6年7月6日実施)



静岡県コンベンションアーツセンター
グランシップにて開催

令和7年度予定

○水害リスク情報等の共有に向けた取組

○洪水浸水想定区域の指定

- 区域指定により義務化される市町のハザードマップ作成、周知を支援していく。

○高潮浸水想定区域の指定

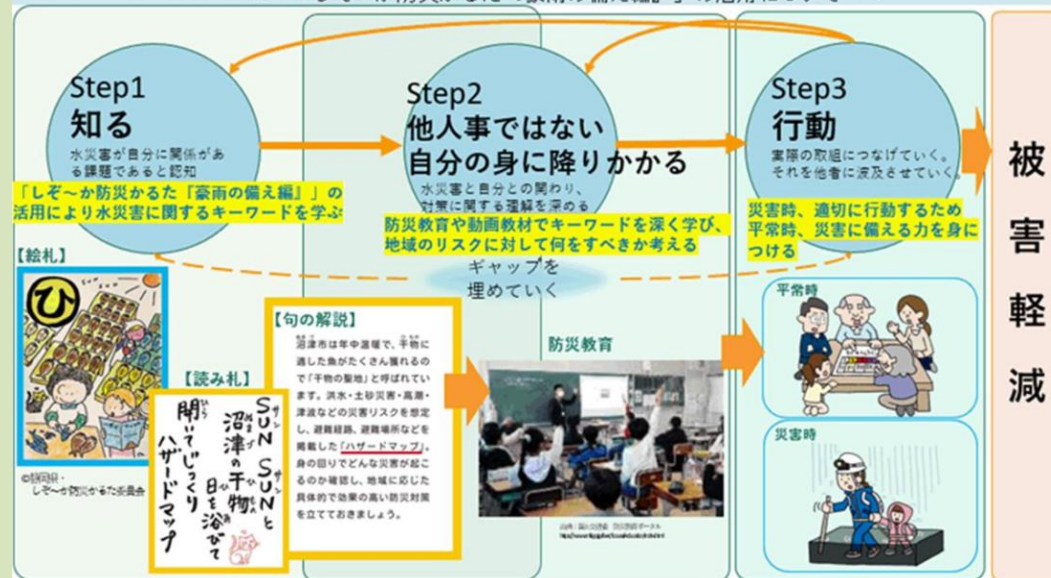
- 想定し得る最大規模の高潮に対する避難体制等の充実・強化のため、水防法に基づく高潮浸水想定区域の指定を目指す。また、区域指定に伴い義務化される市町のハザードマップ作成、周知を支援していく。

○避難行動を促す取組

○出前講座や防災教育の強化

- 「しぞ〜か防災かた『豪雨の備え編』」で遊ぶことを通じて、水災害に関するキーワードを知り、深く学ぶことで地域のリスクと自分との関わりを考えるきっかけとなるよう、小中学校の防災教育の教材として展開していく。

流域治水の考え方にに基づく被害軽減のための対策
～ 「しぞ〜か防災かた『豪雨の備え編』」の活用について ～



令和6年度・令和7年度の主な取組(静岡県健康福祉部)

令和6年度実施

○逃げ遅れゼロのための取組

●社会福祉法人等の指導監査

- ・社会福祉法等に基づく指導監査において、防災管理体制や防災訓練の実施状況をチェックリストを活用し、確認、指導
- ・洪水浸水想定区域内、土砂災害警戒区域内に立地する社会福祉施設等が行う避難確保計画の策定を指導

●高齢者福祉施設の災害対応マニュアルの改訂

- ・「高齢者福祉施設における災害対応マニュアル」について、市町担当課・連絡先等の修正を反映
- ・県が開催する「市町介護保険事業者指導担当者研修会」等で、施設における非常災害対策に重点をおき、本マニュアルを活用

●社会福祉施設等職員防災研修会

- ・施設職員の防災意識の向上や知識の習得を図り、施設の防災対策力を高めることを目的とし、施設職員向けの研修を実施

●避難行動要支援者の避難支援対策等に係る意見交換会、説明会

- ・市町の防災、福祉担当職員に対して要配慮者等に係る意見交換会を実施
- ・危機管理部、交通基盤部と連携して市町職員向け災害救助法等担当者会議を開催



令和7年度予定

○逃げ遅れゼロのための取組

●社会福祉法人等の指導監査

- ・社会福祉法等に基づく指導監査において、防災管理体制や防災訓練の実施状況をチェックリストを活用し、確認、指導
- ・洪水浸水想定区域内、土砂災害警戒区域内に立地する社会福祉施設等が行う避難確保計画の策定を指導

●高齢者福祉施設の災害対応マニュアルの改訂

- ・「高齢者福祉施設における災害対応マニュアル」について、市町担当課・連絡先等の修正を反映。
- ・県が開催する「市町介護保険事業者指導担当者研修会」等で、施設における非常災害対策について啓発

●社会福祉施設等職員防災研修会

- ・施設職員の防災意識の向上や知識の習得を図り、施設の防災対策力を高めることを目的とし、施設職員向けの研修を実施

【研修内容】

要配慮者利用施設の避難訓練についての説明、地震防災アドバイザーによる講演 等

●避難行動要支援者の避難支援対策等に係る意見交換会、説明会

- ・市町の防災、福祉担当職員に対して要配慮者等に係る意見交換会を実施
- ・危機管理部、交通基盤部と連携して市町職員向け災害救助法等担当者会議を開催

令和6年度・令和7年度の主な取組(島田土木)

令和6年度実施

○ハード対策の主な取組

河川内の堆積土砂撤去や樹木伐採による流下能力の保全

国土強靱化総合流域防災事業、県土強靱化対策事業等により、管内24河川における河道掘削や樹木伐採などの工事を実施。

大代川(実施前)



大代川(実施後)



○地域住民の防災意識向上のための取組

水害の出前講座の実施

水害リスクを防ぐ施設の建設現場を体感してもらうため坂口谷川水門にて親子見学会を実施

○迅速かつ的確な避難行動のための取組

監視カメラの設置

過去に浸水のあった地域において、河川水位上昇を把握し、住民の的確な避難行動に役立てるため監視カメラ(14箇所)を設置。



○迅速な水防活動・排水活動の取組

ホットライン訓練の実施

島田土木事務所長と管内各市町長とのホットライン体制を構築し、相互確認のため焼津市と訓練を実施。

洪水予報演習の実施

雨期前に洪水予報演習を3回実施。

令和7年度予定

○ハード対策の主な取組

河川内の堆積土砂撤去や樹木伐採による流下能力の保全

国土強靱化総合流域防災事業や緊急河川浚渫対策事業などにより、管内の河川における河道掘削や樹木伐採などの工事を実施。

○地域住民の防災意識向上のための取組

水害・土砂災害の出前講座の実施

地域の危険箇所や避難経路を確認するため、手作りハザードマップの作成など、適切に避難するための出前講座を実施。

○迅速かつ的確な避難行動のための取組

監視カメラの活用

令和7年度に運用した監視カメラを住民の的確な避難行動に役立てるため活用を図る。

○迅速な水防活動・排水活動の取組

ホットライン訓練の実施

雨期前に島田土木事務所長と管内各市町長とのホットライン体制を構築し、相互確認のため訓練を実施。

洪水予報演習の実施

雨期前に洪水予報演習を3回実施。

令和6年度の主な取組(静岡河川事務所)

令和6年度実施

■安倍川:洪水を河川内で安全に流す対策

○浸食対策

- ・与左衛門新田地区において、護岸の改修を実施します。

○護岸修繕

- ・牧ヶ谷地区、牛妻地区、において、護岸の修繕を実施。

○水位低下対策

- ・洪水を安全に流下させるために、下川原地区で河道掘削を実施。

表 堤防の整備状況(令和5年度末時点)

	堤防必要区間 延長(km)	計画断面堤防区間		暫定断面堤防区間	
		延長(km)	率(%)	延長(km)	率(%)
整備計画策定時	52.1	32.3	60.0	14.1	26.0
現況		41.0	78.7	11.1	21.3

与左衛門新田地区 護岸改修 L=430m



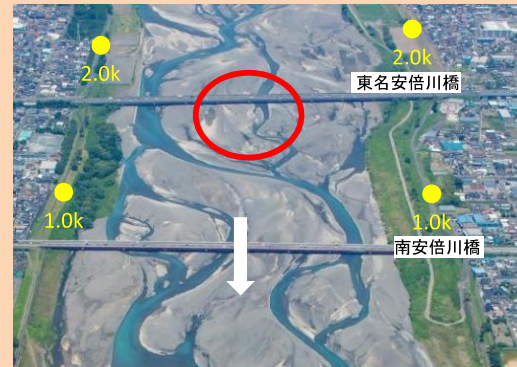
牧ヶ谷地区 護岸修繕 L=100m



牛妻地区 護岸修繕 L=40m



下川原地区 河道掘削V=30千m³



■大井川:洪水を河川内で安全に流す対策

○侵食対策

- ・中河地区、上泉地区において侵食による堤防の決壊を防ぐために低水護岸の整備を実施。

○護岸修繕

- ・西島地区において、護岸の修繕を実施。

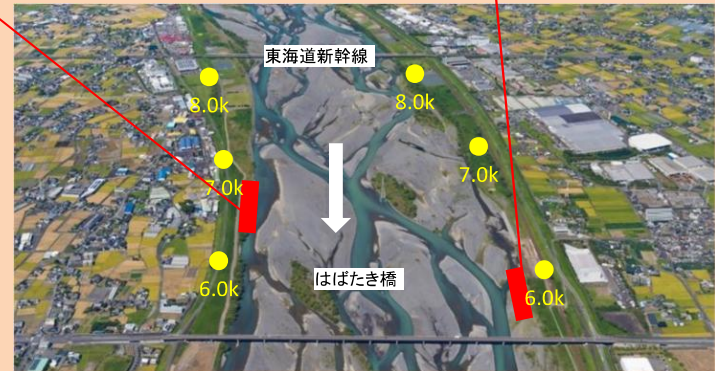
○水位低下対策

- ・洪水を安全に流下させるために、飯淵・川尻地区で河道掘削を実施。

表 堤防の整備状況(令和5年度末時点)

	堤防必要区間 延長(km)	計画断面堤防区間		暫定断面堤防区間	
		延長(km)	率(%)	延長(km)	率(%)
整備計画策定時	38.6	35.8	92.7	2.8	7.3
現況		37.3	96.7	1.3	3.3

中河地区 低水護岸L=40m

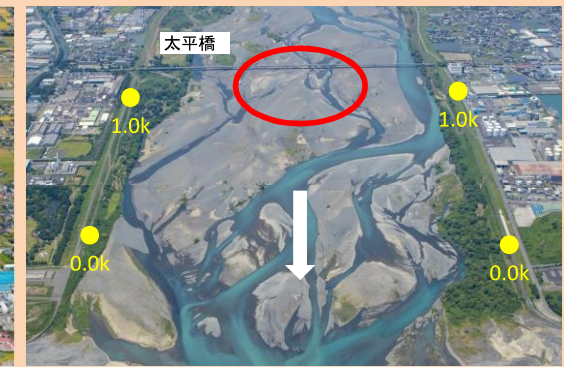


上泉地区 低水護岸L=95m

西島地区 護岸修繕L=50m



飯淵・川尻地区 河道掘削V=40千m³



令和6年度の主な取組(静岡河川事務所)

令和6年度実施

〇ソフト対策の主な取組

水防災教育学生サポーターを活用した授業支援

8/27に島田商業高校の有志の生徒向け授業、また、10/21に駿河総合高校2年生の地理総合の授業において、水防災教育学生サポーター制度を活用した授業支援を行いました。



▲8/27 島田商業高校におけるマイ・タイムライン作成講座
サポーター役を担った静岡大学学生が講義を行いました。



▲10/21 駿河総合高校における地理総合の学習(R5年度に作成した高校生向け教材
を活用した授業)の導入として、安倍川沿川の上中下流ごとの地形や地域の特徴につ
いて、サポーター役を担った学生が講義用資料の作成から当日の講義も行いました。

水防災教育サポーターのための支援



R5年度に作成したサポーターのためのガイドブックの検証として、静岡大学の学生が模擬授業を行い、授業の流れや説明の仕方などについて意見交換した内容を基にガイドブックの改良を行いました。

出前講座



▲6/24 駿河総合高校による事務所見学

▲7/16 足久保小学校における出前授業

静岡市立足久保小学校において、「水害から命を守るため」をテーマとして、ハザードマップ等を用いた出前授業を行いました。
また、静岡県立駿河総合高校の生徒が事務所を訪問し、「地域防災コミュニティプロジェクト学習」の一環として、事務所見学やマイ・タイムラインを作成するグループワークを行いました。

令和7年度の主な取組(静岡河川事務所)

令和7年度予定

■安倍川:洪水を河川内で安全に流す対策

○浸食対策

- ・与左衛門新田地区において、護岸の改修を実施します。

○水位低下対策(河道掘削)

- ・下川原地区において洪水を安全に流下させるため河道掘削を実施します。

○災害復旧(河岸復旧)

- ・令和6年度の台風により河岸及び高水敷損傷が生じた下川原地区において、被災箇所の早期復旧を実施します。

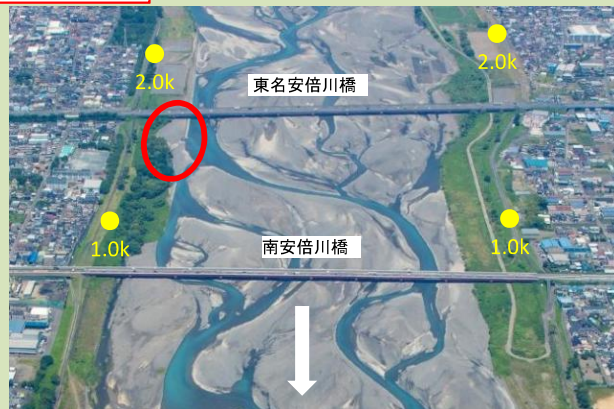
下川原地区 河道掘削 V=約36千m³



与左衛門新田地区 護岸改修 L=430m



下川原地区 河岸復旧 L=420m



■大井川:洪水を河川内で安全に流す対策

○侵食対策

- ・神座地区、中河地区において侵食による堤防の決壊を防ぐために低水護岸の整備を実施します。

○水位低下対策(河道掘削)

- ・飯淵・川尻地区において洪水を安全に流下させるため河道掘削を実施します。

神座地区 低水護岸 L=100m



中河地区 低水護岸 L=70m



飯淵・川尻地区 河道掘削 V=30千m³



令和7年度の主な取組(静岡河川事務所)

令和7年度予定

〇ソフト対策の主な取組

水防災教育体系の整理、教材の共通化、発展的授業の整備

「大規模氾濫減災協議会として学校での水防災教育を通して伝えたい内容」を整理し、それらを展開するために、組織によって異なる教材の一部共通化や、近年の水防災の動向等をふまえた授業案の整備を実施予定。(各機関へ意見照会予定。)

ハザードマップ・避難先に関する講義 例(45分授業) 小中高共通			
テーマ：ハザードマップ/わたしの避難計画を活用した、避難先の確認			
段階(時間)	流れ・発問	補足	使用教材
挨拶・自己紹介(2分)	自己紹介 ・声をかけるときの名前呼び方 ・声をかけるときのルールについて		
導入(10分)	水害時の写真や、最近の身近な地域水害(令和4年台風15号の静岡市内の浸水・停電等の被害)についてのニュース映像などを活用し、水害で被災したときに起こること・危険なこと(避難が必要な理由)を挙げる 「水害がおこると、どんなことが危険でしょう?」	※授業用スライド※ ※身近な水害(パネル)※	
展開①(25分)	ステップ1:ハザードマップを配る・凡例の説明 「ハザードマップは、洪水や土砂災害などの災害で、危険な場所や避難場所について書かれた地図です。」 「みたことがある方は、どのくらいいますか?」(見たことがある場合は、基本的な凡例の説明は、短期も可(具体的作業をしながら確認するための)) ①色(浸水深)の説明を等身大(パネル)で説明 ②土砂災害、家屋倒壊等氾濫想定区域は、家が倒壊する可能性のある危険な場所と伝える ③浸水、内水、高潮、津波など複数ある場合は、それぞれの浸水深の凡例を確認 ステップ2:家の位置を確認(青シール) 「まず、みなさんの家がどこにあるか青シールを貼ってください。」	※小学生の場合は、●●と書いてもイメージしにくい場合があるため、自分の身長や、教室内の高さと比較する ※小学生の場合は、自宅の位置について、事前に避難で調べたことを確認する	
展開②(5分)	ステップ3:家の場所の色を確認 「貼りましたか?貼れた人は、家のあるところの凡例(何色か)を見てください。」 ステップ4:自宅の危険度のチェック 「わたしの避難計画の、自分の家についてチェックをいってください。」 「もしこのハザードマップで危険がないところだったとしても、近くに水害や崖があるところや、土地の低いところは気を付ける必要があります。」 ステップ5:逃げるタイミングを決める 「自分の家が危険な場所にある場合、いつ逃げるかを、フロー(矢印)に沿って考えます。」 小・高生の場合は「どこに逃げるか」は、家族と話しあって確認しよう。 避難所は人であふれていたりする可能性もあります。遠くへの車の移動が必要な場合は、高齢者や避難の経験や大雨・台風の前から、早めに移動を開始しましょう。 ステップ6:逃げるタイミングを知るか テレビ、スマホの避難時の情報のイメージ(各市の気象情報のサンプルを提示)	※「わたしの避難計画」や書き方の資料は、該当地域のものを使用する	
まとめ(5分)	「一番大切なことは、どんなところが危険なのか、いつ危険になるのか調べることです。」 そして、早めに避難することです。 家族にも、自宅がどんなところにあるか、逃げるタイミングを伝えてください。 そして、一緒にどこに逃げるか、テレビやスマホなど、どんな情報を確認するか、決めておきましょう。」		

水防災教育学生サポーター制度の活用

静岡大学と連携し、サポーター制度を活用した授業の実施や、学校側のニーズを踏まえた水防災教育の展開を図る予定。

水防災教育サポーター制度とは

水防災教育授業に、教員補助や生徒への助言等のサポーターとして、学生を派遣することにより、水防災教育の導入にあたっての教員負担を軽減し、普及・拡充を促進することを目的とし、協議会事務局(静岡河川事務所)と静岡大学で取り組んでいます。

静岡河川事務所側のメリット

- 水防災授業支援職員の不足解消・負担軽減
- 水防災教育実施校の拡充による水防災教育の普及拡大
- 国土交通省の水ビジョンの取組の理解促進(学生・大学向け)

学生・大学側のメリット

- 行政の取組の理解促進・体験
- 社会貢献機会
- 進路先の検討
- 就職活動でのPR



水害時のイメージをわかりやすくする教材の充実

水災害への実践的な備えについて学ぶ授業で活用できるよう、水害時のイメージをわかりやすくする教材(浸水フォトモンタージュ等)の充実を図る予定。



▲平常時(左)と洪水時(右)の川の様子の違いを表現した浸水フォトモンタージュの例

▲既存のハザードマップについて学ぶ授業案と、静岡県で展開している「わたしの避難計画」の実践を組み合わせ、教材の共通化を図った例

令和6年度・令和7年度の主な取組（静岡地方気象台）

令和6年度実施

○ 地域住民の防災意識向上のための取組

→ 静岡県の自治体等に、気象防災ワークショップや出前講座等の講演を通して、防災意識向上のための普及・啓発を行った。

○ 迅速かつ的確な避難行動のための取組



→ 2023年3月に導入した「線状降水帯予測スーパーコンピュータ」及び2024年3月5日に導入した「第11世代数値解析予報システム」により、更新前のスーパーコンピュータの約4倍の計算能力になった。これにより予報の精度が向上し、気象情報の改善を行った。

→ 令和6年度は線状降水帯による大雨の半日程度前からの呼びかけの情報が、これまでは地方単位で呼びかけていたものを、令和6年5月27日からは府県単位で呼びかけることに変更・改善した。また、引き続き、静岡県の自治体等に、キキクルに加えて、その使い方を周知した。



東海地方

対象地域を
絞り込んで発表

大雨に関する静岡県気象情報 第〇号
〇年〇月〇日〇〇時〇〇分 静岡地方気象台発表
＜見出し＞
東海地方では、〇日夜には、線状降水帯が発生して大雨災害発生の大危険度が急激に高まる可能性があります。
＜本文＞
…（中略）…



静岡県

大雨に関する静岡県気象情報 第〇号
〇年〇月〇日〇〇時〇〇分 静岡地方気象台発表
＜見出し＞
静岡県では、〇日夜には、線状降水帯が発生して大雨災害発生の大危険度が急激に高まる可能性があります。
＜本文＞
…（中略）…

令和7年度予定

○ 地域住民の防災意識向上のための取組

→ 引き続き、静岡県内の自治体等に、気象防災ワークショップや出前講座等の講演を通して、防災意識向上のための普及・啓発を行う。

○ 迅速かつ的確な避難行動のための取組

→ 引き続き、静岡県の自治体等に、キキクル等の防災気象情報の利活用方法を周知広報する。

○ 気象防災情報の体系整理に伴う取組

→ 令和8年出水期以降に予定している防災気象情報の体系整理による情報改善に向けて、新情報への円滑な移行ができるよう静岡県内の自治体等に丁寧な説明を行う。

なお、新しい防災気象情報では、以下の変更・改善により、受け手側の立場に立った情報となる予定。

- ・ 5段階の警戒レベルにあわせて、情報体系及び名称を整理
- ・ 警戒レベル4に相当する「レベル4〇〇危険警報」の新設

警戒レベル相当情報	洪水に関する情報		大雨洪水に関する情報	土砂災害に関する情報	高潮に関する情報
	洪水予報河川、水位周知 河川の外水氾濫	河川ごと	河川の外水氾濫、 内水氾濫	市町村ごと	沿岸ごと又は市町村ごと
5	氾濫発生情報	—	大雨特別警報	大雨特別警報	高潮氾濫発生情報
＜警戒レベル4までに必ず避難＞					
4	氾濫危険情報	—	—	土砂災害警戒情報	高潮特別警報、 高潮警報
3	氾濫警戒情報	洪水警戒	大雨警戒 （土砂災害）	大雨警戒 （土砂災害）	警報に切り替える可能性が高い 高潮注意報
2	氾濫注意情報	洪水注意	大雨注意 ※ 警戒レベル相当情報としての位置づけなし	大雨注意	高潮注意報
※ 令和8年出水期以降の予定					
警戒レベル相当情報	洪水に関する情報		大雨洪水に関する情報	土砂災害に関する情報	高潮に関する情報
	洪水予報河川、水位周知 河川の外水氾濫	河川ごと	河川の外水氾濫、 内水氾濫及び 左記以外の河川の外水氾濫	市町村ごと	沿岸ごと又は市町村ごと
5	レベル5氾濫特別警報	レベル5大雨特別警報	レベル5土砂災害特別警報	レベル5高潮特別警報	
＜警戒レベル4までに必ず避難＞					
4	レベル4氾濫危険警報	レベル4大雨危険警報	レベル4土砂災害危険警報	レベル4高潮危険警報	
3	レベル3氾濫警戒情報	レベル3大雨警戒	レベル3土砂災害警戒	レベル3高潮警戒	
2	レベル2氾濫注意情報	レベル2大雨注意	レベル2土砂災害注意	レベル2高潮注意	